

## 資料 3

令和 5 年度宮崎県の歯科保健事業の実績  
及び令和 6 年度の取組について

# 1 ライフステージに応じた歯科保健対策の推進

## 乳幼児期・学齢期

### <課題>

- 12歳児のむし歯のない者の割合を増やし、市町村間における歯の健康格差を縮小させる必要があります。
- むし歯予防に有効なフッ化物応用の機会を増やす必要があります。
- 乳幼児期及び学齢期の口腔機能の獲得に関する事業を実施する市町村を増やす必要があります。

表1 3歳児で4本以上のむし歯のある歯を有する者の割合の推移 (%)

年度	H30	R1	R2	R3
宮崎県	6.4	5.9	6.2	5.3
全国	4.0	3.6	3.5	3.0

表2 3歳児で咬合異常のある者の割合の推移 (%)

年度	H30	R1	R2	R3
宮崎県	9.7	9.5	8.9	13.6
全国	13.2	14.0	14.7	15.2

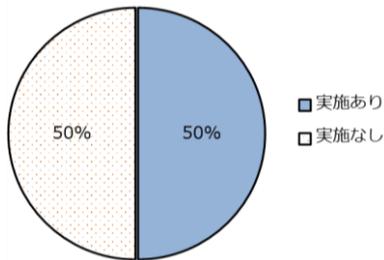


図1 乳幼児期の口腔機能の獲得に関する事業を実施している市町村の割合

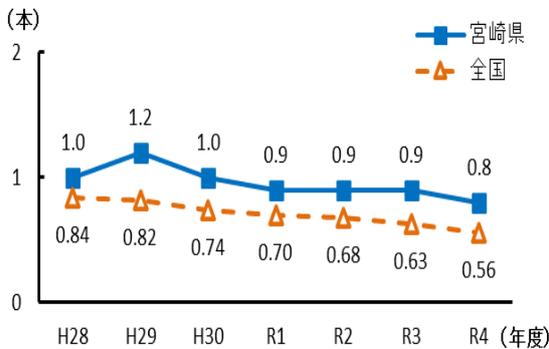


図2 12歳児一人平均むし歯数の推移

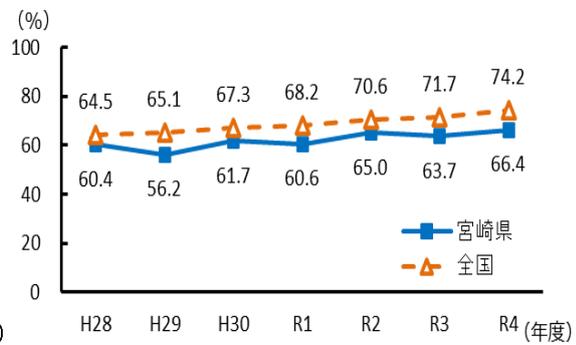


図3 12歳児むし歯のない者の割合の推移

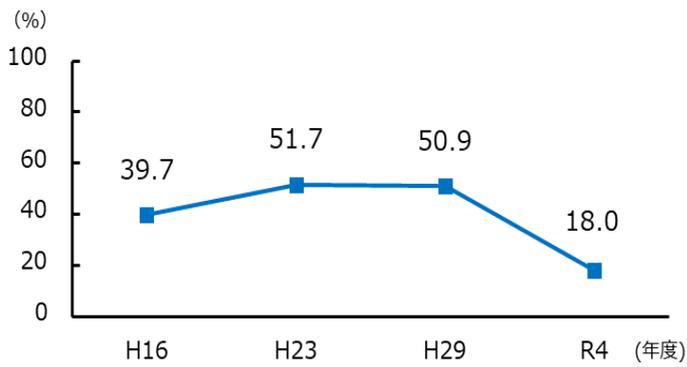


図4 年1回以上、歯科専門職<sup>※</sup>による歯科保健指導を実施している小学校の割合の推移  
 ※ 歯科医師、歯科衛生士

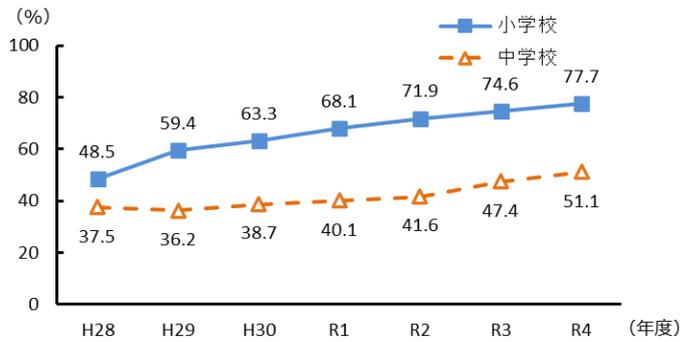


図5 小学校、中学校<sup>※</sup>におけるフッ化物洗口実施状況の推移

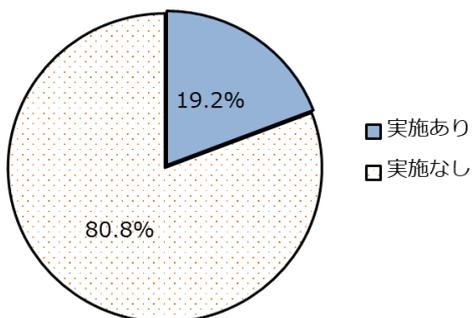


図6 学齢期の口腔機能の獲得に関する事業を実施する市町村の割合

## 1 歯科疾患予防対策事業

### (1) フッ化物応用促進事業

フッ化物の応用によるむし歯予防方法についての正しい情報を周知し、県民の歯と口の健康に対する興味を喚起するとともに県民の歯と口の健康づくりを推進する。

#### ①R5年度実績（テレビ宮崎商事株式会社委託）

- クリアファイルの作成、配布 11,000部（県内小学校新1年生）

#### ②R6年度の取組（株式会社MRTアド委託）

- クリアファイルの作成、配布 11,000部（県内小学校新1年生）



### (2) 若い世代の歯と口の健康づくりサポート事業（宮崎県歯科衛生士会委託）

若い世代（高校、大学、事業所等）等に対し、歯と口の健康づくりやフッ化物応用によるむし歯予防に関する情報提供及びむし歯予防、口腔ケア等について指導を行い、歯・口腔の健康増進を図る。

#### ①R5年度実績：6件 参加者：340名

（県立産業技術専門学校、宮崎看護専門学校、豊心福祉学園、クラーク記念国際高等学校宮崎キャンパス、都城コアカレッジ、県立富島高等学校）

#### ②R6年度申込：10件

（県立宮崎工業高等学校（全日制）、県立宮崎工業高等学校（定時制）、宮崎保健福祉専門学校、都城看護専門学校、県立産業技術専門学校、宮崎看護専門学校、豊心福祉学園、クラーク記念国際高等学校宮崎キャンパス、都城コアカレッジ、県立富島高等学校）



### (3) フッ化物洗口技術支援事業

フッ化物洗口推進のため、市町村や学校等に対し専門的支援を行う。

#### ①令和5年度実績

- リーフレット「フッ化物洗口によるむし歯予防」作成、配布 5,000部

- 宮崎県フッ化物洗口マニュアル（第2版）作成



## 成人期（妊娠期を含む）・高齢期

### <課題>

- 進行した歯周炎を持つ者の割合を減らす必要があります。
- 妊産婦の歯科健診を行っている市町村を増やす必要があります。
- 50歳以上における咀嚼良好者の割合を増やす必要があります。

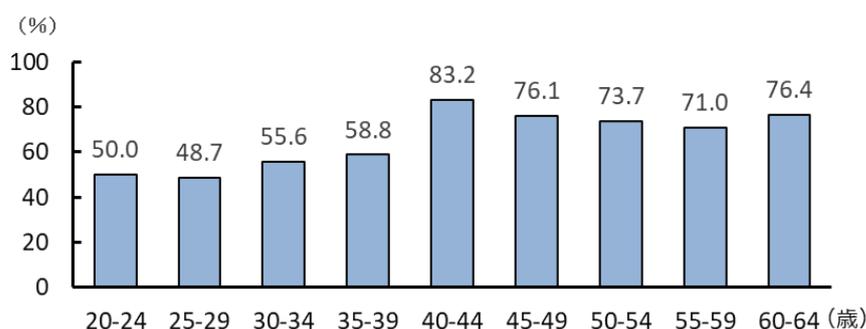


図7 進行した歯周炎を持つ者\*の割合の推移

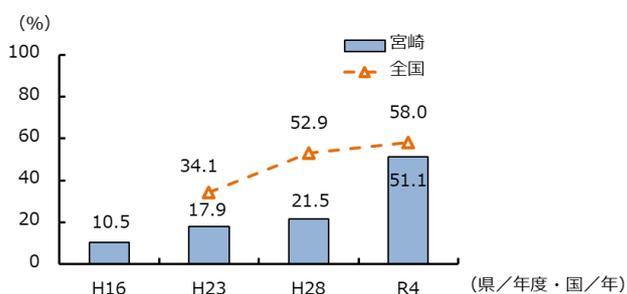


図8 定期的に歯科健診に行っている者の割合の推移

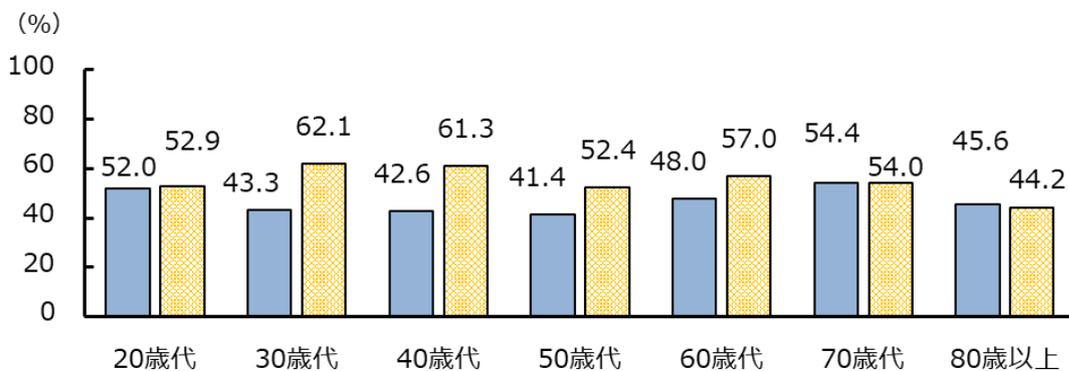


図9 定期的に歯科健診に行っている者の割合 (年齢別)

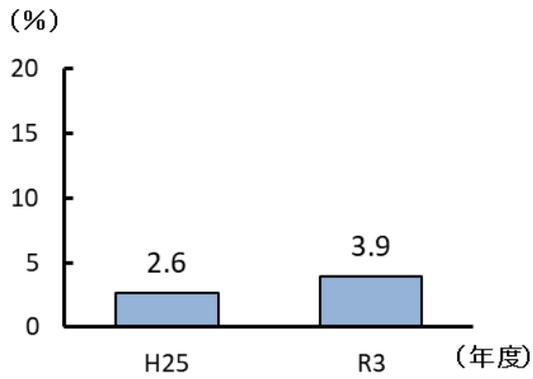


図10 歯科健診を実施している事業所の割合の推移

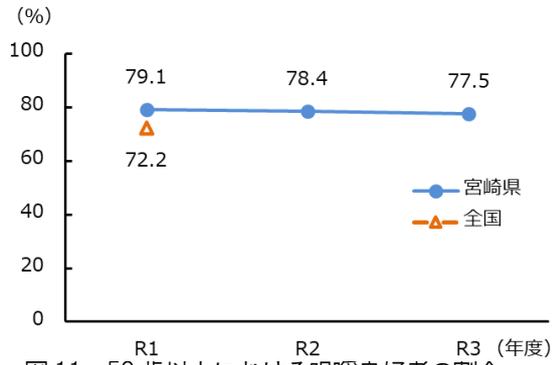


図11 50歳以上における咀嚼良好者の割合 (50~74歳) ※

表3 市町村が実施する成人歯科健診（歯周疾患検診）受診率の推移 (%)

年度	H30	R1	R2
宮崎県	4.1	3.5	3.9

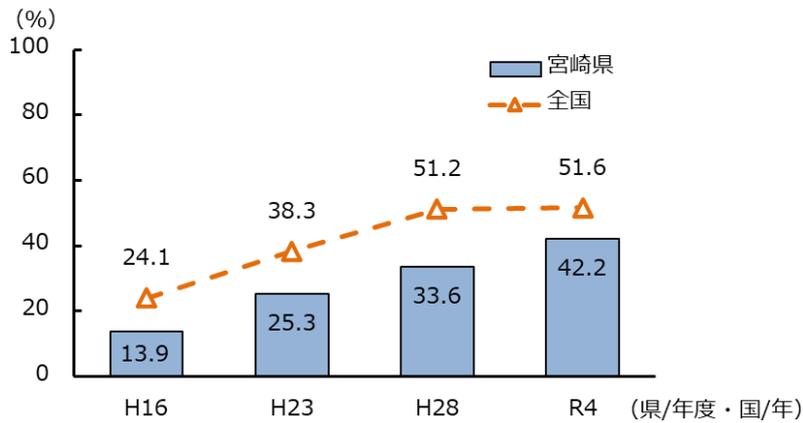


図12 80歳<sup>※3</sup>で20本以上の自分の歯を有する者の割合の推移

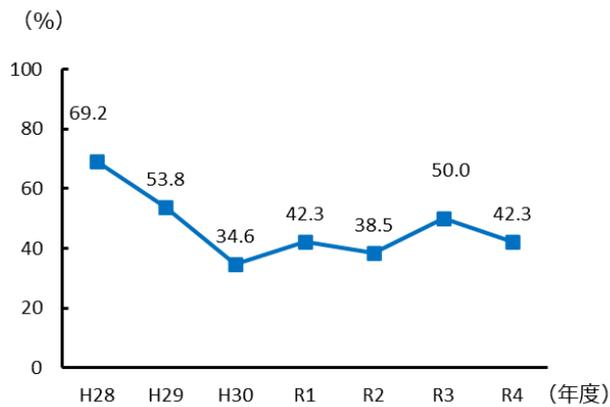


図13 介護予防・日常生活支援総合事業における“口腔ケア関係”事業実施市町村の推移

### (1) 事業所等への定期歯科健診推進事業（宮崎県健康づくり協会委託）

事業主や健康管理担当者への歯科保健意識の啓発、従業員等への歯科健診、歯科保健指導を行うことで、定期歯科健診実施事業所の増加を図る。

#### ①R5年度実績

■受診勧奨チラシ、歯ブラシセットの配布：400部

■研修会

開催日	内容	受講者数
令和5年 10月4日	演題 「歯とお口の健康」 講師 宮崎県歯科医師会 仁部 郁代先生	73名
令和5年 11月15日	演題 「歯とお口の健康」 講師 宮崎県歯科医師会 松田 聡先生	250名

（「令和5年度日南地区安全衛生推進大会」内／主催：宮崎県労働災害防止団体等連絡協議会）

#### ②R6年度の取組

■協会けんぽメールマガジンへの掲載

■事業所歯科健診の実施：1企業（70名）※R71/8,1/16 予定

■歯科健康教育：令和6年度宮崎・小林地区安全衛生推進大会（9/26）

※今年度モデル事業を実施（就労世代の歯科健康診査等推進事業（厚生労働省））

### (2) 妊産婦における歯科保健対策事業

■市町村妊婦歯科健康診査補助金

妊婦歯科健診を行う市町村への補助を行う。

#### ①R5年度実績

9市町（宮崎市、都城市、延岡市、国富町、綾町、高原町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町）

#### ②R6年度申請

8市町（宮崎市、都城市、延岡市、国富町、綾町、高原町、日之影町、五ヶ瀬町）

### (3) 産科医療機関等従事者への歯科保健指導研修（宮崎県歯科医師会委託）

産婦及び生まれてくる子どもの歯の健康づくりに寄与するため、産科医療機関の関係者等に対する研修、啓発資料の作成・周知等を行う。

#### ①R5年度実績

■妊婦歯科健診啓発ウエットティッシュの作成、配布 20,000個

#### (4) 高齢者のフレイル予防

##### ①R5年度実績

- 「栄養と口腔からはじめるフレイル予防」パンフレット 20,000部
- 出前講座：8回

##### ②R6年度の取組

- 出前講座：8回



## 2 支援が必要な方への歯科保健の推進

### 障がい児者・要介護者

#### <課題>

- 地域で障がい児者を診療する協力歯科医師を増やす必要があります。
- 定期的に歯科健診を実施している障がい児者施設及び高齢者福祉施設の割合を増やす必要があります。
- 施設職員が口腔ケア等の研修を受けている障がい児者施設及び高齢者福祉施設の割合を増やす必要があります。
- 在宅歯科診療を実施する歯科医療機関を増やす必要があります。

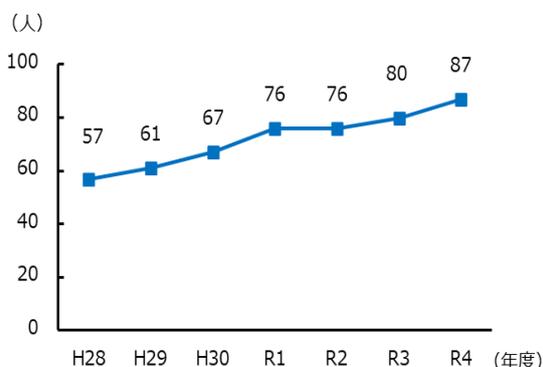


図 14 県内の障がい児者協力歯科医師数の推移

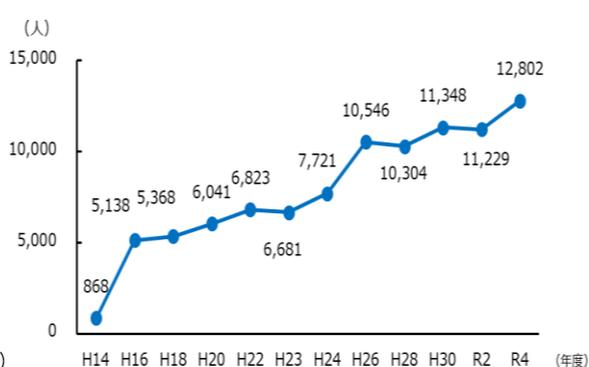


図 15 「宮崎歯科福祉センター」における延べ患者数の推移

表4 宮崎歯科福祉センターの延べ患者数、全身麻酔法等の実績

年度	H22	H27	H30	R1	R2	R3	R4	R5
延べ患者数	6,823人	10,829人	11,348人	11,451人	11,229人	12,089人	12,802人	14,293人
全身麻酔法	38件	61件	49件	47件	55件	61件	68件	81件
静脈内鎮静法	129件	203件	258件	243件	204件	214件	218件	218件

表5 在宅歯科診療を行っている歯科医療機関の割合の推移 (%)

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
宮崎県	26.6	27.2	27.7	29.2	27.1	27.3

### (1) 障がい児者歯科保健医療推進事業

障がい児者等が安心して歯科保健医療サービスを受けることができるよう、宮崎歯科福祉センターと連携して地域で障がい児者歯科診療を担う協力歯科医師等を養成し、歯科保健医療体制の整備を図る。

#### 1) 協力歯科医師、歯科衛生士養成事業（宮崎県歯科医師会委託）

##### ①R5年度実績

##### ■研修会

開催日	内容	受講者数
令和6年 1月27日	講演 「スペシャルニーズ歯科の概要、障害別の特徴と対応のポイント」 講師 医療法人発達歯科会おがた小児歯科医院 理事長 石倉 行男先生 講演 「地域社会との共鳴～宮崎歯科福祉センターの調和と成長～」 講演 宮崎歯科福祉センター 歯科診療部長 日高 幸一先生	34名
令和6年 1月28日	講演 「行動調整の種類と実際」 講師 医療法人発達歯科会おがた小児歯科医院 理事長 石倉 行男先生 講演 「スペシャルニーズ歯科におけるスタッフの役割」 講師 医療法人発達歯科会おがた小児歯科医院 歯科衛生士 寺田 ノリカ先生 講演 「障がい児者への歯科訪問診療、症例供覧」 講師 医療法人発達歯科会おがた小児歯科医院 理事長 石倉 行男先生	21名

■実習

実施日：令和5年11月8日（水）～令和6年1月12日（金）

実施場所：宮崎歯科福祉センター、都城医療センター

参加人数：13名（歯科医師7名、歯科衛生士3名、オブザーバー3名）

■実習管理委員会 2回

2) 歯科医療体制整備等事業（宮崎市郡歯科医師会委託）

地域拠点歯科診療所（宮崎歯科福祉センター）と地域の歯科診療を担う歯科医療機関等との連携を図るとともに、歯科保健医療サービスの提供及び障がい児者歯科医療に携わる歯科医師等の資質向上を行う。

①R5年度実績

■障がい児者施設等歯科健診：施設数：5施設、152名

（知的障害者総合福祉施設 向陽の里 さくら寮、知的障害者総合福祉施設 向陽の里 もみのき寮、知的障害者総合福祉施設 向陽の里 グループホーム）

■研修会

開催日	内容	受講者数
令和5年 11月29日 （オンデマ ンド配信）	演題 「立きの予防も予防の一つ」～明日から役に立つ障害児の歯科診療～ 講師 国立モンゴル医学科学大学 客員教授 岡崎 好秀先生	72 アドレス

■宮崎歯科福祉センター職員研修会

開催日	内容
令和5年 7月11日	演題 「子育て（障害児の子育てを絡めて）」 講師 日本メンタルコーチ協会 代表 益田 緑先生
令和5年 10月18日	演題 「義歯の色々」 講師 黒木歯科医院 歯科医師 黒木 亜津沙先生
令和6年 2月16日	演題 「施設入所者（知的・発達障害）の介護職の役割について」 講師 看護師 北原 昌幸先生

### 3) 障がい児者歯科疾患予防対策事業（宮崎県歯科衛生士会委託）

障がい児者に対して、その状況に応じた支援を行い、歯科疾患の予防等による口腔の健康の保持・増進を図ること及び障がい児者に対する歯科診療、歯科保健指導に対応できる歯科衛生士を育成、確保する。

#### ①R5年度実績

■学校関係者並びに児童生徒に対する歯科保健指導：13回、参加者 357名

（るびなす支援学校（小・中学部）、日南くろしお支援学校（高等部）・（中等部）、みやざき中央支援学校（高等部）、日向ひまわり支援学校（小学部）、山田りんどう福祉会、清水スマイル館、さつき園、しおみの里、清水台通所センター、県立療育センター（児童・看護師）、みやざき中央支援学校（中学部・保護者・職員）、みやざき中央支援学校（保護者・職員）

■リーフレットの作成、配布

■視覚支援媒体「歯みがきカレンダー」作成、配布 4,000部

■障がい児者対応歯科衛生士の育成確保研修会

開催日	内容	受講者数
令和5年 10月1日	演題 「障がいの特性を考慮したアプローチと歯科治療」 講師 医療法人まほうつ会ハーミイ小児矯正歯科 院長 宮川 尚之先生 演題 「障がいを持っている方への対応」 講師 医療法人まほうつ会ハーミイ小児矯正歯科 歯科衛生士長 新留 美雪先生	24名
令和6年 11月5日	演題 「障がい児の摂食・嚥下について」 講師 県立こども療育センター 言語聴覚士 山下 晃功先生 演題 「認知症の人への対応方法について」 講師 宮崎大学医学部附属病院 副看護部長 認知症看護認定看護師 上山 寛満先生	24名

### (2) 介護施設等における口腔ケア等指導研修事業（宮崎県歯科医師会委託）

入所者等へ口腔ケアを行うとともに、施設等職員への口腔ケア指導を実施する。

#### ①R5年度実績

■実施回数：延べ25施設、参加人数 545名

#### ②R6年度申込

■36施設

### (3) 在宅歯科医療推進事業

高齢期・寝たきり者・障がい児者等に対する在宅歯科医療に普及向上に資するため、在宅歯科診療に取り組む歯科医療機関に対して、在宅歯科医療機器等の設備整備や人材育成の研修会を行う。

#### 1) 在宅歯科医療推進設備整備事業

在宅歯科診療に必要な医療機器の購入補助

①5年度実績 補助施設数：19 施設

(ポータブルユニット、給水吸引ブラシ、歯科用ポータブルX線装置、嚥下内視鏡等)

②R6年度申請 補助施設数：15 施設

#### 2) 在宅歯科ネットワークの構築(宮崎県歯科医師会委託)

在宅要介護者の歯科医療と口腔ケアを推進するため、在宅歯科調整窓口を設置し、在宅歯科医療に関する相談業務や歯科訪問診療の調整、自宅、施設の訪問による歯科保健状況の把握など在宅歯科医療を推進する。

①R5年度実績

■調整窓口の設置：県内4か所(県央、県南、県西、県北)

■相談件数 88 件(うち歯科医療機関紹介件数：70 件) (件)

		医療機関		施設	その他 (市町村・保健所等)
		病院	その他		
県央	相談	3 (2)	1 (0)	9 (6)	7 (6)
	訪問によるアセスメント	0	0	0	0
県西 (都城)	相談	4 (4)	0 (0)	8 (7)	13 (10)
	訪問によるアセスメント	0	0	0	0
県南 (日南)	相談	0 (0)	3 (2)	19 (15)	9 (7)
	訪問によるアセスメント	0	3	18	6
県北 (延岡)	相談	1 (1)	0 (0)	3 (3)	8 (7)
	訪問によるアセスメント	0	0	0	0

※ ( ) は歯科医療機関につないだ件数

### 3) 在宅支援における歯科衛生士の復職支援事業

免許取得者のうち現在離職している者等を対象に、離職している背景や復職に際して望むこと等に関する相談会の開催や歯科衛生士の復職及び人材確保に係る研修会等を開催する。

#### ①R5年度実績

■復職支援相談会の開催（宮崎県歯科医師会委託）：8回

■歯科医療機関管理者向け研修会（離職防止研修会）（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内容	受講者数
令和6年 2月10日	演題「人が辞めない組織・仕組みづくり～集まる、辞めない、成長する～」 講師 霧島人事総研 代表 特定社会保険労務士 本嶋 有二郎先生	14名

■スキルアップ研修会（宮崎県歯科衛生士委託）

開催日	内容	受講者数
令和5年 5月28日	演題 「良い人間関係・信頼関係を構築するためのコミュニケーション」 講師 クーラデザインラボ 代表 瀧砂 勇二先生	27名
令和5年 8月20日	演題 「特別支援学校の実態と歯科保健について」 講師 宮崎県立児湯るひなす支援学校 養護教諭 森田 邦子先生 演題 周術期等口腔機能管理について～歯科衛生士として～ 講師 宮崎大学医学部附属病院歯科口腔外科矯正歯科 歯科衛生士 馬場 園恵先生	30名
令和5年 9月17日	講義 「ライフステージに応じた口腔衛生指導について」 講師 宮崎県歯科衛生士会 青木 由美子先生・下池 光先生・小川 沙織先生	33名
令和6年 1月21日	実習 印象採得（模型）、スケーリング（模型）、口腔アセスメント等 講師 宮崎県歯科衛生士会会員	6名

### 4) 在宅歯科医療人材育成等事業

#### ①R5年度実績

■歯科衛生士向け研修会（宮崎県歯科衛生士会委託）

開催日	内容	受講者数
令和5年 7月30日	演題 「訪問医療に関わる専門職、医療連携、訪問栄養士による栄養士指導～症例を交えて～」 講師 労働衛生コンサルタント 歯学博士 秋廣 良昭先生	32名
令和5年 10月15日	演題 「在宅歯科医療での歯科衛生士の重要性」 講師 一般財団法人潤和会リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院診療研究所リハビリテーション科 部長 河野 寛一先生	27名
令和5年 12月17日	演題 「嚥下機能訓練」 講師 土持歯科医院 院長 土持 賢一先生	22名

■医療・介護従事者向け研修会（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内容	受講者数
令和6年 2月4日	演題 九州・山口口腔ケアシンポジウム in 宮崎 講師 宮崎県栄養士会 理事 日高 知子先生	82名

②R6年度の取組

■復職支援相談会の開催（宮崎県歯科医師会委託）



(5) 県民に対する周知啓発

①R5年度実績

- 在宅歯科啓発カレンダーの作成、配布 1,500 個
- 在宅歯科医療チラシ作成、配布 5,000 枚



3 医科歯科連携を推進するために必要な体制の整備

<課題>

- がん患者等の口腔ケアなどの医科歯科連携の必要性について、県民や医療関係者等への更なる普及啓発を図る必要があります。
- 医師、看護師、医療連携室スタッフ等に対して、がんや脳卒中、心血管疾患等の治療における医科歯科連携の必要性の理解を深めるため、研修会や検討会を実施する必要があります。
- 医科歯科連携ができている病院数を増やす必要があります。
- 「宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針(第2期)」を参考に、糖尿病治療時における医療機関と歯科医療機関との連携を推進する必要があります。

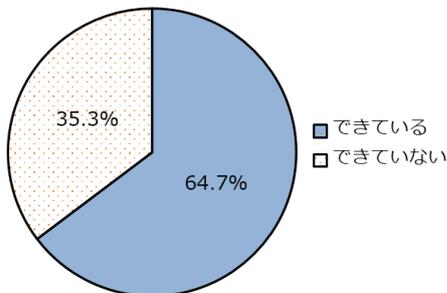


図 16 県内の医科歯科連携の実施状況

**(1) 地域医療支援病院等における医科歯科連携事業（宮崎県歯科医師会委託）**

医科歯科連携を推進するため、調整窓口を設置し、地域医療支援病院やがん診療連携拠点病院等の患者に対して誤嚥性肺炎などの全身感染症や口腔内合併症を予防・軽減するための口腔管理を行い、患者のQOL（生活の質）向上を図る。

■調整窓口の設置：県内4地区（宮崎、日南、都城、延岡）

①R5年度実績

相談件数：277件（うち歯科医療機関紹介件数276件）、口腔ケア：272件（件）

		医療機関			その他
		地域医療支援病院	がん診療連携拠点病院	その他	
県央	相談	162 (162)	0 (0)	99 (90)	1 (1)
	口腔ケア	162	0	90	0
県西 (都城)	相談	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	口腔ケア	0	0	0	0
県南 (日南)	相談	0 (0)	3 (2)	18 (18)	5 (4)
	口腔ケア	0	3	18	6
県北 (延岡)	相談	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	口腔ケア	0	0	0	0

※1（ ）は歯科医療機関につないだ件数

※2 つないだ歯科医療機関からの派遣、調整窓口からの派遣のいずれも含む

■研修会

開催日	内容	受講者数
令和5年 11月26日	演題 「県立宮崎病院における周術期口腔機能管理」 講師 宮崎県立宮崎病院歯科口腔外科 医長 松本 幸三先生 演題 「血液化学療法の変化」 講師 宮崎県立宮崎病院 副院長・内科部長 山下 清先生	47名

■連携会議、ケース検討会等：23回

■口腔ケア実践研修会：研修会：7回（36名）

## 4 災害時の歯科保健医療体制の整備

### <課題>

- 特に要介護者、障がい児者等の要配慮者においては、誤嚥性肺炎や口腔機能低下のリスクが高いことから、口腔ケアなどのオーラルフレイル予防を行う必要があります。
- 平時から、災害時におけるオーラルフレイル予防や歯・口腔の健康保持の重要性について普及啓発を行う必要があります。

#### (1) 災害時の口腔ケア推進事業（宮崎県歯科医師会委託）

災害発生時に速やかに歯科保健医療活動を行うことができる支援体制を整備するため、関係団体と連携を図るとともに関係者に対する研修会を開催する。

##### ①R5年度実績

開催日	内容	受講者数
令和6年 1月13日	演題 「大規模災害時の関連死を防ぐ～歯科保健・医療の重要性～」 講師 医療法人社団関田会 ときわ病院 歯科・歯科口腔外科部長 神戸市健康局 歯科専門役 足立 了平先生	52名

## 5 歯科口腔保健を担う人材の確保・育成

### <課題>

- 近年の高齢化に伴う訪問歯科診療における口腔健康管理のニーズの増加や介護施設等との連携による口腔ケアの推進、病院等との連携による周術期口腔健康管理の推進、フレイル予防など、歯科保健医療の新たなニーズが高まる中、それに対応できる資質の高い歯科衛生士の養成及び確保が必要です。
- 歯科衛生士の不足は全国的な課題となっており、本県においては、人口10万人あたりの歯科衛生士数は全国値を上回っているものの、歯科診療所における歯科衛生士が不足しています。

#### (1) 歯科保健指導者研修会

市町村、保健所等の指導者を対象とする研修会を開催することで、歯科保健活動のより一層の向上を図る。

##### ①R5年度実績

開催日	協議内容	参加者数
令和5年 12月1日	行政説明 宮崎県における歯科保健の現状と取組 演題 「歯科健診（検診）の受診率向上を図るための戦略」 講師 北海道医療大学歯学部保健衛生学分野 教授 三浦 宏子先生	102名 (会場16名、 オンデマンド86名)

②R6年度の取組

開催日	協議内容	参加者数
令和6年 11月19日	行政説明 宮崎県における歯科保健の現状と取組 講演 「歯科保健と食育」 ～自然に健康になれる食環境づくり 「くらしき3ベジプロジェクト」、他職種や関連団体との連携～ 講師 倉敷市保健所健康づくり課食育推進係 主幹（歯科衛生士） 家守己恵子 先生 講演 「子どもたちが上手に噛める・食べられる・呼吸できるように」 講師 医療法人育成会矯正小児ひまわり歯科理事長 柿崎陽介 先生	50名

(2) 歯科専門職種の資質向上事業

歯科保健医療サービスを円滑に提供するため歯科医師、歯科衛生士等の歯科専門職種を対象に研修会を開催し、資質向上を図る。

①R5年度実績

■研修会

開催日	内容	受講者数
令和5年 12月2日	演題 「唾液腺が脳や腸と関連する臓器間ネットワークから歯科医療の未来を考える」 講師 神奈川歯科大学副学長・大学院研究科長 大学院口腔科学講座環境病理学 教授 槻木 恵一先生	40名
令和5年 12月23日	演題 「う蝕と歯周病を許さない！最新情報アップデート」 講師 大阪大学大学院歯学研究科 予防歯科学講座 教授 天野 敦雄先生	66名

(3) 歯科医療従事者養成学校設備整備事業

歯科衛生士、歯科技工士の教育内容の充実、質の高い医療を提供できる人材を育成・確保するために必要な実習用ユニット、ICT 環境の整備を行う。

①R5年度実績：2校

- 宮崎歯科技術専門学校：実習用歯科ユニット4台
- 都城デンタルコアカレッジ：実習用歯科ユニット1台

②R6年度申請：2校

- 宮崎歯科技術専門学校：実習用歯科ユニット4台
- 都城デンタルコアカレッジ：ガス滅菌器等2台



#### (4) 宮崎県医療福祉分野における物価高騰対策緊急支援事業（歯科技工所）（R5年度）

光熱費やガソリン代等の高騰の影響を受ける県内の歯科技工所に対して、支援金を支給することで事業者の負担軽減を図り、歯科保健医療サービスの安定した提供を図る。

##### ①R5年度実績

支援金支給：歯科技工所 136件  
(支援金：1施設当たり50,000円)



## 6 総合的な歯科保健対策の推進

### (1) 歯科口腔保健推進強化事業

「宮崎県歯・口腔の健康づくり推進条例」及び「第2期宮崎県歯科保健推進計画」に基づき、8020運動の積極的な普及啓発、および具体的な施策の普及を行う。また、歯・口腔の健康づくりに関する施策を総合的に推進することにより、県民の皆様の保持増進に寄与することを目的とし歯・口腔の健康づくりの推進強化を図る。

#### 1) 8020運動推進強化事業

ライフステージごとの特性を踏まえた歯科保健対策の推進、定期歯科健診の普及を図る。

- 妊産婦における歯科保健対策事業 補助金（再掲）
- 妊産婦における歯科保健対策事業 研修会（再掲）
- フッ化物洗口技術支援事業（再掲）
- 事業所への定期歯科健診推進事業（再掲）
- 介護施設等における口腔ケア等指導研修事業（再掲）

#### 2) 歯科保健対策推進体制強化事業

##### ■ 歯科保健推進協議会の開催

県民の生涯にわたる歯・口腔の健康づくりに関する施策を協議する。

##### ①R5年度実績

開催日	協議内容
令和5年 10月31日	(1)第3期宮崎県歯科保健推進計画策定に関すること ・計画の改定について ・宮崎県歯科保健推進協議会実務者会議概要 ・計画の構成について ・第2期計画の評価について ・計画の指標項目及び目標値について ・第3期宮崎県歯科保健計画（素案）について

令和6年 1月24日	(1)「第3期宮崎県歯科保健推進計画」策定に関すること ア) パブリックコメント等の要旨と県の考え方について イ) 第3期宮崎県歯科保健推進計画(案)について ウ) 第3期宮崎県歯科保健推進計画策定のスケジュールについて (2)「宮崎県フッ化物洗口マニュアル」の改定について (3)その他 ア) 令和4年度宮崎県の歯科保健事業の取組 イ) 令和5年度宮崎県の歯科保健事業の取組
---------------	---

## ■ 歯科保健推進協議会実務者会議の開催

### ① R5 年度実績

開催日	協議内容
令和5年 6月30日	「第3期宮崎県歯科保健推進計画」策定に関すること ・「宮崎県歯科保健推進計画」策定等の主な経緯 ・「第3期宮崎県歯科保健推進計画」の策定スケジュール ・「第3期宮崎県歯科保健推進計画」の構成について ・「第2期宮崎県歯科保健推進計画」の指標項目と達成度評価について
令和5年 8月30日	(1) 令和5年度第1回宮崎県歯科保健推進協議会実務者会議の主な意見 (2) 「第3期宮崎県歯科保健推進計画」策定に関すること ① 「第3期宮崎県歯科保健推進計画」の骨子について ② 「第3期宮崎県歯科保健推進計画」の指標項目・目標値について

## ■ 歯科専門職種の資質向上事業(宮崎県歯科医師会委託)(再掲)

## ■ 歯科保健指導者研修会(再掲)

## ■ 地域歯科保健推進協議会の開催

県保健所において地域の歯科保健の実態把握と課題解決を図るため、協議会を開催する。

### ① R5 年度実績

保健所名	開催日	内容
中央	令和5年 8月3日	(1) 管内の歯科保健状況について (2) 講話「宮崎県の歯科保健の取組及びフッ化物洗口の効果について」 (3) フッ化物洗口100%を目指すためにできること
日南	令和6年 1月24日	<報告> (1) 日南保健所地域歯科保健推進協議会設置要綱の改正 (2) 宮崎県の歯科保健の現状と取組～高齢者の歯の健康～

		<p>(3) 協議会の取組</p> <p>R4 高齢者施設への歯科保健に関するアンケート調査</p> <p>R5 地域の歯科保健課題解決に向けた研修会</p> <p>(4) 復命報告「人生100年時代の8020運動」</p> <p>&lt;協議&gt;</p> <p>(1) 歯科保健事業の取組及び課題について</p>
都城	令和5年 11月15日	<p>1 報告</p> <p>(1) 宮崎県の歯科保健の取組について</p> <p>(2) 都城保健所管内の歯科保健の現状について</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 都城市・三股町におけるフッ化物洗口の取組について</p> <p>(2) 成人期における歯科保健事業の取組について</p> <p>・歯周疾患検診について</p> <p>・妊婦歯科健康診査事業について</p> <p>・その他</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 令和4年度都城保健所歯科保健推進研修会の報告について</p> <p>(2) 令和5年度都城保健所歯科保健推進研修会の開催について</p>
小林	令和6年 2月15日	<p>1 報告</p> <p>管内の歯科保健の現状と取組について</p> <p>2 協議</p> <p>(1) 幼児期・学童期の歯科保健事業の取組について</p> <p>(2) 成人期の歯科保健事業の取組について</p> <p>3 情報共有：災害時における口腔ケアについて</p>
高鍋	令和5年 12月7日	<p>(1) 宮崎県の歯科保健の現状及び取組について</p> <p>(2) 高鍋保健所管内の歯科保健の現状について</p> <p>(3) 各所属における令和5年度の取組と課題について</p>
日向	令和5年 12月27日	<p>I. 報告・情報共有</p> <p>(1) 県内・管内の乳幼児期と学童期の歯科保健の現状と課題について</p> <p>(2) 令和5年度歯科保健推進研修会について</p> <p>(3) 子どものフッ化物洗口について</p> <p>II. 議事</p> <p>(1) 令和4年度歯科保健事業の取組と評価・重点課題、今年度の取組について</p> <p>(2) 日向保健所管内のフッ化物洗口実施状況について</p> <p>(3) フッ化物洗口の実施に関する実態調査（案）について</p>

延岡	令和5年 10月6日	(1) 令和4年度歯科保健に関する現状及び事業実績報告 (2) 令和5年度延岡市の歯科保健推進に向けた取り組み ※ 令和5年度延岡市歯科保健推進協議会
高千穂	令和6年 1月16日	(1) 西臼杵郡における幼児期、学童期の歯科保健の現状について (2) 宮崎県における歯科保健の現状及び取り組みについて (3) 各町、各団体における令和4年度歯科保健活動の報告及び令和5年度の取組について (4) 成人の定期歯科健診受診率向上の取組について

#### ■地域の課題解決に向けた研修会の開催

県保健所において地域の歯科保健の課題解決を図るため、研修会を開催する。

##### ①R5年度実績

保健所名	開催日	内容
中央	令和5年 9月4日	講演「子どものう蝕予防に関する研修会」 講師 健康増進課 主幹 森木大輔
日南	令和5年 6月6日 (串間会場) 令和5年 6月7日 (日南会場)	演題「高齢者施設と歯科専門職との連携体制づくり」(2会場共通) 【日南】 「訪問診療の実際について」黒木歯科医院 黒木 利隆先生 「日南地域歯科医療連携センターについて」 日南地域歯科医療連携センター 中村 幸枝先生 グループワーク「歯科専門職との連携の現状・課題、体制構築に向けて」 【串間】 「訪問診療の実際について」たばた歯科クリニック 田畑 綾乃氏 「日南地域歯科医療連携センターについて」 日南地域歯科医療連携センター 中村 幸枝先生 グループワーク「歯科専門職との連携の現状・課題、体制構築に向けて」
小林	令和5年 12月1日	演題 歯科健診(検診)の受診率向上を図るための戦略 講師 北海道医療大学歯学部保健衛生学分野 教授 三浦 宏子先生 ※ 宮崎県歯科保健指導者研修会(健康増進事業)と共催
都城	令和6年 1月11日	講演「歯と口の健康づくり ～むし歯予防の重要性とフッ化物洗口について～」 講師 宮崎県健康増進課 主幹(口腔保健支援センター長) 森木 大輔
高鍋	令和5年 6月1日 (オンライン開催)	講演「乳幼児期における口腔ケアの重要性について」 講師 健康増進課 主幹 森木 大輔氏 講演「楽しく歯育て! 保育園・幼稚園・施設の先生方へ」 講師 宮崎県歯科衛生士会 近藤 泰子先生

日向	令和5年 5月31日	説明 県内・管内の子どもの歯科保健の状況 講師 宮崎県健康増進課 主幹 森木 大輔 講演 子どもが自分でできる歯周疾患・むし歯予防について ～ブラッシング・歯間ブラシ・フロスの正しい使い方～ 講師 ほり歯科医院 院長 堀 健介先生
延岡	令和6年 2月28日	講演 「高歯齢期における口腔の特徴と口腔ケアの重要性について」 演習 「口腔内の観察ポイントを学ぶ」 講師 四倉歯科医院 院長 歯学博士 染矢 哲郎先生

### ■ 歯科疾患等調査研究事業

- ・ 学校における歯科疾患等実態調査
- ・ 市町村歯科保健事業実施状況調査
- ・ フッ化物洗口実施状況調査



### ■ 県民向け公開講座（宮崎県歯科医師会委託）

#### ① R5年度実績

開催日	内 容	参加者数
令和5年 12月3日	講演 「伝える力は聞く力へ輝く言葉を届けるために～」 講師 UMK テレビ宮崎 アナウンサー 武田 華奈先生 講演 「スゴイぞ唾夜一口の健康から全身の健康を目指せ～」 講師 神奈川歯科大学副学長・大学院研究科長 大学院口腔科学講座環境病理学 教授 槻木 恵一先生	121名

#### ② R6年度の取組

開催日	内 容
令和6年 12月8日	講演 「食べることは生きること～健口と幸福寿命、不健口と日本人の死因～」 講師 大阪大学名誉教授 天野 敦雄先生

### ■ よい歯のコンクール（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内 容
令和5年 6月4日	・ 図画・ポスターコンクール 県教育長表彰各1名（ほか） ・ 標語コンクール 県教育長表彰1名（ほか） ・ 親と子のよい歯のコンクール 知事表彰1組（ほか） ・ 高齢者のよい歯のコンクール 知事表彰1名（ほか）

■いい歯の日キャンペーン事業

「いい歯の日（11月8日）」を含む期間に、県民に対して歯と口の健康づくりの積極的な普及啓発を図る。

①R5年度実績

- ・歯科健診受診勧奨キャンペーンの実施 応募人数：1,247名
- ・県内3か所にて歯と口の健康づくり啓発グッズの配布 3,000個
- ・テレビ、SNSにおける定期歯科健診の啓発

②R6年度実績

イベントの開催：イオンモール宮崎・イオン延岡：令和6年11月3日（日）



<内容>

- ・歯と口の健康グッズ（歯ブラシ、デンタルフロス、キシリトールガム等）1,000個
- ・チラシの配布
- ・クイズラリー、フォトブースの設置（イオンモール宮崎のみ）
- ・プレゼントキャンペーン

歯科医療機関を受診しキャンペーンに応募した方の中から抽選で20名に電動歯ブラシ、50名様にQUOカードPay1,000円分をプレゼントするもの。

■定期歯科健診等普及啓発：ポスター：300枚



■高齢者のフレイル予防（再掲）

■宮崎県庁ホームページ等による情報発信

県庁ホームページ、宮崎県口腔保健支援センターフェイスブック、みやざき健康ライフ等において、歯と口の健康づくりに関する情報を発信しています。



県口腔保健支援センターフェイスブック      公式インスタグラム（宮崎県健康 life）

**（2）口腔保健支援センター運営事業**

宮崎県口腔保健支援センターにおいて、歯科保健事業の総合窓口として関係機関と連携し、「宮崎県歯科保健推進計画」に基づく歯科保健事業の企画及実施、県民や関係者への情報提供、関係者の研修、調査・研究等を行いました。

- 歯・口腔の健康づくりに関する総合窓口
- 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発等の企画・立案及び実施
- 市町村、庁内関係各課・保健所に対する専門的支援
- 定期歯科健診の推奨
- 障がい者等歯科健診等の取組の推進
- 歯科疾患予防の推進
- 調査・研究の推進
- その他、歯・口腔の健康づくりの推進に関する業務

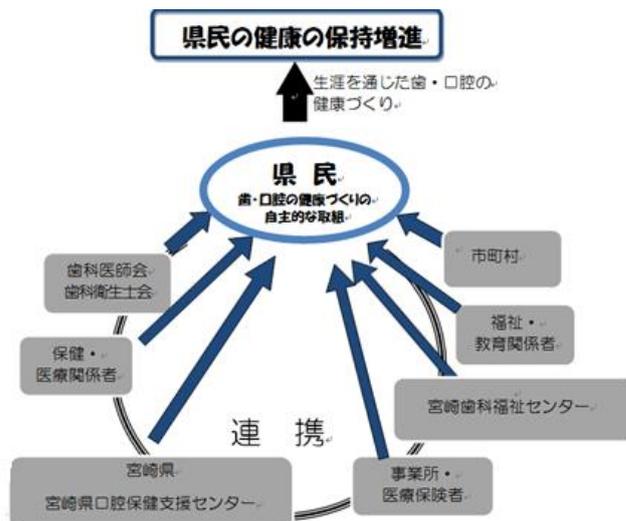


図 17 推進体制